



114
A2885
1

114
A2885
2

御
存仕侍者此恒朝解
事至鉄道敷細目如
定相成の中邦亦為成
慶祝ニ中本馬世の鉄
道敷設ノ材ト以テ七年中
其ノ既ニ精進ニ海河の及

路ニ於テハ
ラ測量セシ
ニ入リ其東
至ノ縁
場所ニ於
將來ニ於
シ考ルニ思
手セラントス
ニ必要ハ甚ク
敷ルニ上ニ



拜住侍者此恒朝解
 事金铁道敷細目如
 定相成の中邦家として
 度祝ニ中事多世に鉄
 道敷設に於ては其年中
 其既精進に深句を以て
 我政府に右材師と為し之
 量せしめ給はしむるに
 其は沙の力に依りて採
 之りて其利事業として
 其世人と和君の志に
 其一人の考案として
 其國內事業に精進し
 尚其地を以て其地
 此の年其地在於此
 其情に精進し其地
 其地は鉄道の敷
 其志清く其地
 物産豊饒に其地
 達せしめ其地

按、口鉄道、右ノ線、
及、志清、ノ、中、重、七、市、府、各
物、産、量、饒、也、乃、以、道、之、産、山、
達、セ、シ、メ、テ、ハ、距、離、亦、亦、或、ハ、心、長
シ、先、シ、テ、モ、資、材、亦、若、ク、之、論、多、ク
且、ウ、該、地、ニ、カ、リ、シ、テ、益、ハ、甚、達、セ、シ、ト、
業、之、ハ、同、感、ス、却、釋、ハ、道、中、穀
物、産、量、ノ、多、ク、ハ、倉、羅、上、ト、亦、見、セ、
テ、年、々、該、道、ヨ、リ、争、域、其、他、北、部、供
給、ス、ル、米、穀、(或、ハ、他、米、ト、モ、) 其、他、物、産
夥、シ、ク、又、曰、道、ヲ、卷、山、江、川、経、テ、
北、西、ニ、振、出、ス、ル、物、産、モ、少、カ、ク、丹、シ、ハ、之、
勝、也、之、直、深、ニ、比、較、セ、ハ、必、之、ニ、勝
ル、モ、ハ、ハ、ハ、論、ニ、或、ハ、ハ、存、在、依、テ、先
考、之、為、メ、又、ク、音、見、者、亦、深、見、
也、之、ヲ、以、テ、説、キ、テ、振、出、ス、ル、故、也、

乙未年四月

杉村 清

大隈伯青閣下

追、境、川、ハ、神、津、子、ト、亦、身、者、望、

長江以南... 考其達也...
其下之同感る却釋八道中辨穀
和物産ノ多キハ在羅上ト云見モ
ト年ノ該道ヨリ争域共他北部供
給スル穀(豆等米等)共他物産
夥シク又曰道ヲ卷山江川徑ノ
外四一抽出ル物産モ少カクサハ之ヲ
辨之ニ直保比較セハ必之ヲ務
ルモノハハハ論ニ成トモ存候候之先
考ニ為ノ尺ノ意見者出保之
其下ノ説々々抽出ルノ故也

杉村 淡

明治二十九年十月

大隈卿閣下

追々増川ハ神法子トモ身者泥生
ニテ十餘年江川取ルノ争域ハ在初シ
ルノ高況ノ油産ヲ概然シ也 在初中
志法を以テ之農功記来トシテ當
トモ若クハ...

114
A2835
1

起河... 大隈... 樹下



石
...
打田清

今ヤ二千億四以上ノ巨資ヲ投シテ之ヲ敷設ト着手セラルントス
例へ起因ハ軍事上ノ專ナリトスモ所轄軍事上ノ必要ハ甚ク
稀ニシテ商業上ノ必要ハ一日モ欠クヘカラス去レハ之ヲ敷設セシム

測量セシ
入リ其東
至ノ縁
向所ニ於
將來ニ於
考如シ思

114
A2835
1



平釜鉄道線路の概略

今田博 述
 明治廿七年、頃我政府は技師ヲシテ彼地ニ就テ測量セシ
 メリ其結果亦故ヨリ平釜道ノ事南ヲ過シ忠清道ニ入り其東
 北部ヲ過シ度尚道ノ北部ニ出テ斯クテ南下釜山ニ至ル後
 定ナリト聞ク蓋シ該路定線然レ最モ距離ノ近キ場所ニ於
 テ險然リ避クルコト主眼トセシ者如シト雖モ現在云ク將來ニ於
 テ轉地商業上ノ關係ニ就テハ尙モ顧慮セシコト考ヘ思
 フ、該鉄道カ軍事上ノ着眼ニ專リシ、故ナリトス
 今ヤ二十萬四以上ノ巨資ヲ投シテ之カ敷設ト着手セシントス
 例ヘ起因ハ軍事上ト專リトスモ所據軍事上ノ必要ハ甚ク
 稀ニシテ商業上ノ必要ハ一日モ欠クヘカラス去レハ之ヲ敷設スル上ニ

Handwritten notes on a strip of paper attached to the right edge of the page.

於て鉄路甚若、後来たれん經濟上ノ關係、此キ全ク考慮
シ要セ尤ヘケンヤ世ニ鉄路先ツ通シ人地ヲ住シ地造ケ昌ラトテ論
考アルモ未開不毛ノ地ニ在テ或ハ然ラズ然レモ以テ韓地ノ引例トナスヘカ
ラス韓地ハ既ニ未開不毛ノ域リ脱セリ不元方ナカラモ開クヘキ地既
之ケ開キ昌ラヘキ地ハ相應ニ昌ヘ居リ例ハ鉄路ノ便開クル為メ
現在ノ地位、多少ノ變動リ生ズヘシトモ至モ之カ為メ大ニ變動ハ
倒産急速ニ望ミ得ヘキナル必セリ況ヤ兎角開田智ニ拘泥シテ
キ韓人ソシテ鉄路ノ利用ヲ專ラセシムルニ於テヤ故ニ事情ノ
容ス限リハ既ニ開ケ既ニ昌ヘ居ルノ地ニ於テ韓人ソシテ其便ヲ利用
スルニ容易ナラシムルコト得ハ既ニ開ケ既ニ昌ヘ居ルノ地ハ
亦ヨ昌フルニ至リ鉄路ハ其經濟ヲ維持シテ或ハ後来有望ノ地位
ニ進リ得ヘシ是ニ於テカ前述ノ決定線路ノ梗ヲ經濟上ニ便ナラシ

考アルヲ知ル

夫レ慶尙全羅忠清三道ノ富庫ソレヲ稱セラル、既定論タリ就
中全羅ハ穀物海産楮紙麻紵ノ産ソレケ名アリ而シテ木製ハ製
品及ヒ各種葎類ニ在テハ特産地タルトシテ同道ノ人又能ク工作
従事シ韓地唯一ノ工業地ソレヲ目セラル慶尙之ニ次リ忠清ニ至テハ
前二道ニ及スルモ平野地ニ富シ住民多ク均ク富庫ノ名ヲ著カス
故ニ三道ヨリ毎年ノ不賦ニ供給スル貨物々實ハ巨額ナリト決シテ
無積言ノ言トホス隨テ高峯セ韓地ニテハ葎産セル方ニテ旅徒往
來ニ極メテ頻繁ノ地方極ノヤキモ其數夥シク忠清ノヤキハ巨族
ヲ以テ充サシ居リ而シテ鉄路シテ此間ノ便ニ供スルコト得ハ只鉄路ノ利
トシテナラス三道ノ葎産ハ實ニ著シキ至ラシ然レモ該決定線ハ全
ク主要ナル全羅ノ地ニ入ラス而シテ忠清ノ主要ナル南部地方ノ不便シ

獨度志リ北より南釜山と貫通スル名也其具法係在線中
忠清及度尚北部ノヤキハ全キ山谷ノ向ミテ昨雜コソ近ケレ過リ
ハ所現仕太クハ將來ニ於テ高業地也ハ此北ノ産出地リ有セス
以テ例ハ全通スル大半山向ニ於ケル少許ノ需要供給ニ過キ旅
客ノ如キモ亦此ノ際々々免レザルヘシ

三南既ニ富庫ノ經アリ是ニ於テ其向ノ交通ハ持地ニテ元方開
ケル方ニテ京城ヨリ釜山ニ至ル大道ハ寬ク此向ニ通シテ京を向往
來ノ旅客ニ多クハ此ニ出ルル常トス即テ京城ヨリ水原(四郡一平感道)
仁州(忠清道ノ首府)全州(全羅道ノ首府)南原ヨリ過キ安義ニ出テ
此向全州ヨリ鎮安ニ出テ京ヲ經ル經ルハ安義ニ出ル持地アリ
星州大邱(慶尚道ノ首府)斯クテ釜山ニ到ル此道路ハ持地ニ於テ
主要ナル四道ナル故況況ハ貨物ノ集散地多ク是等ハ何レモ附近各

地ニ於テハ需要供給ノ本部ニ地位ニ於テ長レリ故ニ余ハ平釜鉄
道ニ可成以上ノ線路ニ於テ敷設セラルルノ利タリ信シテ當向者
向テ該線路確定前今一應鄭重ニ調査アラシメテ設置ニ當リ
前述線路ヲ添定線ニ比シテ延長恐ラハ二十里前後ノ多クモ過キ

明治三十二年

樺山天守

本十二